

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公開番号】特開2018-81906(P2018-81906A)

【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2018-019

【出願番号】特願2017-159647(P2017-159647)

【国際特許分類】

H 01 R	11/01	(2006.01)
C 08 L	101/00	(2006.01)
B 32 B	27/18	(2006.01)
B 32 B	27/20	(2006.01)
H 01 R	43/02	(2006.01)
C 08 J	5/18	(2006.01)

【F I】

H 01 R	11/01	501 A
C 08 L	101/00	
B 32 B	27/18	J
B 32 B	27/20	Z
H 01 R	11/01	501 D
H 01 R	11/01	501 E
H 01 R	43/02	Z
C 08 J	5/18	

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月21日(2020.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

上述したフィラーの露出部分の周りの樹脂層2の傾斜2b(図1B)や、フィラーの直上の樹脂層の起伏2c(図6)の効果を得られ易くする点から傾斜2bの最大深さLeとフィラー1の粒子径Dとの比(Le/D)は、好ましくは50%未満、より好ましくは30%未満、さらに好ましくは20~25%であり、傾斜2bや起伏2cの最大径Ldとフィラー1の粒子径Dとの比(Ld/D)は、好ましくは100%以上、より好ましくは100~150%であり、起伏2cの最大深さLfとフィラー1の粒子径Dとの比(Lf/D)は、0より大きく、好ましくは10%未満、より好ましくは5%以下である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

なお、傾斜2b又は起伏2cにおけるフィラー1の露出(直上)部分の径Lcは、フィラー1の粒子径D以下とすることができ、好ましくは粒子径Dの10~90%である。また、フィラー1の頂部の1点で露出するようにしてもよく、粒子径Dが樹脂層2内に完全に埋まり、径Lcがゼロとなるようにしてもよい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0116

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0116】

- 1 フィラー（導電粒子）
- 2 樹脂層（絶縁性樹脂層）
- 2 b 凹み（傾斜）
- 2 c 凹み（起伏）
- 3 フィラー分散層（導電粒子分散層）
- 4 第2の樹脂層

10A、10B、10C、10D、10E、10F、10G、10H、10I フィラー含有フィルム（その一態様である異方性導電フィルム）

L a 樹脂層の層厚

L b 隣接するフィラー間の中央部における接平面とフィラーの最深部との距離

L c 傾斜又は起伏におけるフィラーの露出（直上）部分の径

L d フィラーの周り又は直上の樹脂層の傾斜又は起伏の最大径

L e フィラーの周りの樹脂層における傾斜的最大深さ

L f フィラーの直上の樹脂層における起伏の最大深さ

【手続補正4】

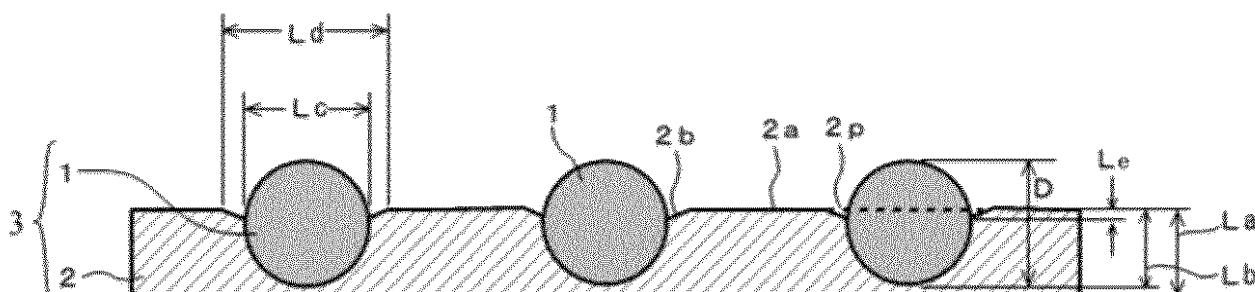
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1B

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1B】



(X-X断面図)

10A

【手続補正5】

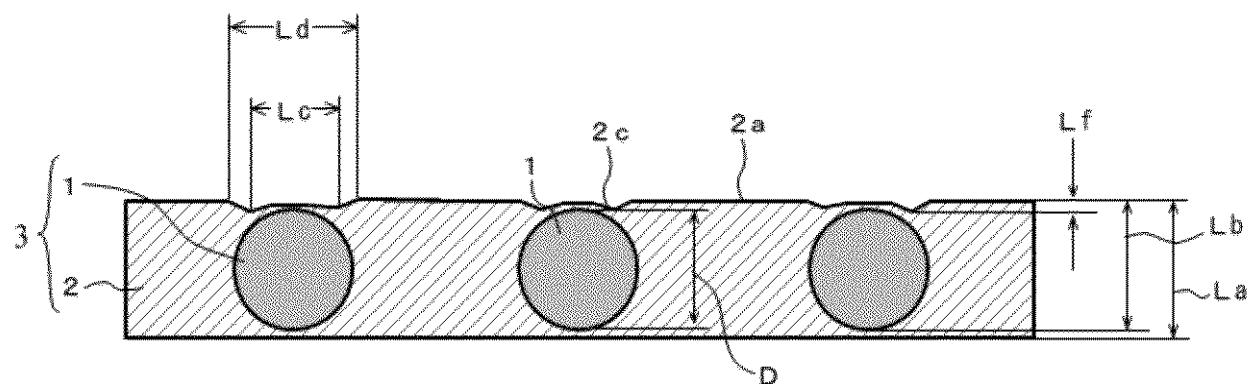
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】



10F